



議会だより



おもな内容

12月定例会	2
一般質問（6人）	6
委員会活動報告	12
議会報告会・意見交換会	16
どっこい、この町に生きる	20

日南小学校に小型ドローンがやってきた



一般会計補正予算

電気・燃料の高騰による 支払いなど総額 6409万円

ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した世界の経済情勢は、ますます混迷を深め終息の兆しが見えない。影響は顕著で電気、燃料の高騰はとどまる気配が見えず、その負担の追加2787万円をはじめ、6409万円の補正予算を可決した。



朝日に映えるゆきんこ村四季彩

◆ゆきんこ村

◆ふるさと日南邑及び緑の館
指定管理者の名称
テック(株) 代表取締役 上村 勝文
大阪市中央区船越町一丁目3番5号
管理を行わせる期間
令和5年4月1日から令和10年3月31日

◆道の駅『にちなん日野川の郷』
指定管理者の名称
(株)サクセス 代表取締役 和泉 亨
坂出市西大浜北2丁目1番地11号
管理を行わせる期間
令和5年4月1日から令和10年3月31日

公の施設に係る指定管理者の指定

ここに注目

おもな電気・燃料の高騰による支払い増などによる負担増

庁舎管理事務 (360万円)

電気の使用量は概ね例年通りだが、電気料金の高騰により庁舎電気代が不足

塵芥処理事業 (475万円)

日南清掃センターの電気料不足を補填

外国語教育推進事業 (399万円)

再開予定のシアトル派遣における燃料価格高騰、円安による特別給油付加運賃の上昇による増額

病院運営事業 (1260万円)

日南病院の燃料費不足による一般会計負担金の増額

学校管理運営事務 小学校費 中学校費 (129万円) (165万円)

電気料金の高騰による増額及びLPガス使用量の増による燃料費の増額

議決したおもな議案

工事請負契約の締結

工事名 町道霞福塚線法面対策工事
(下石見2工区)
工事場所 日南町下石見
契約の相手方 日野郡日南町生山11番地1
有限会社 岡田建設
代表取締役 岡田 浩徳
契約金額 55,880,000円

日南町職員の給与に関する条例の一部改正

日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、日南町職員の給与に関する条例と、日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例をそれぞれ一部改正

国民健康保険特別会計補正予算

◆保険給付事業

6306万円
一般被保険者分療養給付費及び、高額療養費、葬祭諸費等の増加

介護サービス事業特別会計補正予算

◆居宅介護支援事業

201万円
介護予防支援マネジメント業務一部委託料の増

簡易水道事業会計補正予算

◆施設整備費

542万円
漏水調査に伴う管路等修繕費の増額
9カ所(多里3カ所、宮内1カ所、下石見4カ所、上石見1カ所)
漏水調査に伴う給水管布設替え工事、落雷被害による機器更新費の増

病院事業会計補正予算

収益的収支

644万円
コロナウイルス感染症対応の診療材料費の増額。医療機器・施設設備の修繕などの実績増加
資本的支出 192万円
コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンライン面会用パソコンの購入及び除細動器の更新

日南町議会の12月定例会は、12月6日から13日までの8日間の会期で開かれました。一般質問では、6人の議員が登壇し2日間にわたり中村町政2期目に向けた政策提言や現状の課題などに対し、活発な議論を展開しました。執行部から提案された工事請負契約の締結、公の施設に係る指定管理者の指定、日南町職員の給与に関する条例の一部改正、令和4年度各会計補正予算など全13議案は原案のとおり可決しました。(議決結果は4ページに掲載)

もっとくわしく質疑応答

指定管理

道の駅

問 道の駅の「一品一円」について指定管理者はどのような認識か。また、出荷者にも共有されているのか。

答 指定管理者がＪ－クレジットを購入することで、理解されている。更に取り組みを強化する。

問 過去5年間の総括はどうなっているのか。

答 新型コロナウイルスで客数が減少する中、レストラン経営や新商品開発などの努力を評価する。

問 買取販売の見通しは。引き続き業者と交渉を

提案された議案について多くの質疑がありました。その中から一部を紹介します。

日南邑

問 フラワーセンター管理棟の指定管理は。

答 現在考えていない。

問 ソーラーパネルの設置計画があるか。

答 電気代の高騰で指定管理者が計画されている。

ゆきんこ村

問 グラウンドの芝生化による波及効果は。

答 夏場のキャンプ場として町内外からの集客に活かされた。

問 日南邑とゆきんこ村は、

条例の一部改正

給与引き上げ

問 0.3%の給与引き上げとなっているが、職員全体の人件費増額は。

答 200万円程度である。

問 日南病院職員も同じ考えか。

答 人事院勧告に基づき同様に改正している。

問 会計年度任用職員と正職員との賃金格差が拡大するのでは。

答 今回の勤勉手当の引き上げは正職員だけだが、国でも処遇改善が検討されている。

補正予算

職員給与

凍結防止

問 公共施設の凍結防止マニュアルは策定されているか。

答 統一的なマニュアルはない。今後検討する。

消防車両

問 日本消防協会より寄贈される消防車両は。

答 現在使用している消防広報車は廃車し、消防防災活動に供用する。

シアトル派遣

問 シアトルへの派遣事業は、家庭の経済的な理由により行きたくても参加できない生徒がいるのでは。

答 子供たちが積極的に海外で学びたいの思いを後

漏水調査

問 漏水調査にともなう給水管布設替工事が計上されているが、現在の漏水率は。

答 漏水率という表記はしないが、有収水量率は今回の調査で90.2%に改善した。

病院のオンライン面会

問 オンライン面会の内容と実績は。

答 病棟はタブレットで対応していたが、大画面のモニターによる面会が必要となっている。面会は毎月15〜20家族。

12月定例会可決・認定した議案

○可決した議案

令和4年度補正予算	一般会計補正予算（第6号）
	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
	介護保険特別会計補正予算（第1号）
	介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
	簡易水道事業会計補正予算（第2号）
	下水道事業会計補正予算（第2号）
一条例の改正	病院事業会計補正予算（第1号）
	日南町職員の給与に関する条例
その他	日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
	工事請負契約の締結について（町道霞福塚線法面对策工事（下石見2工区））
	公の施設に係る指定管理者の指定について（道の駅にちなん日野川の郷）
	公の施設に係る指定管理者の指定について（農林業体験実習施設ふるさと日南邑及び日南町緑地等利用施設緑の館）
	公の施設に係る指定管理者の指定について（農林漁業体験実習施設ゆきんこ村）

○否決した議案

発議	マイナンバーカードの発行による健康保険証の廃止及びオンライン資格確認の医療機関への原則義務化の撤回を求める意見書提出について
----	--

……賛否の分かれたもの

○賛否内訳

大西保	岩崎昭男	檀田洋一	久代安敏	近藤仁志	荒木博	古都勝人	岡本健三	坪倉勝幸	山本芳昭
×	×	×	○	×	×	×	○	×	—

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

討 論

反対 久代安敏議員
シアトル派遣は教育の機会均等の面から当初予算でも反対した。再開するなら修学旅行として位置づけ、すべての子どもが参加できるようにすべき。

賛成 檀田洋一議員
シアトル派遣は特筆する町の事業であり、推進すべき。希望者も多く、みな熱い思いを持っている。現地での経験を通して非認知能力も養える。

反対 岡本健三議員
シアトル派遣は多額の自己負担があり、物価高騰で家計が厳しいなか再開すべきではない。すべての子育て世帯が恩恵を受けられる施策を優先すべき。

賛成 古都勝人議員
シアトル派遣は修学旅行的な発想もあるが、行きたくないとの声もある。今後時間をかけて議論すべき問題であり、今回は予算通り実施すべき。

採 決

○賛否内訳

大西保	岩崎昭男	檀田洋一	久代安敏	近藤仁志	荒木博	古都勝人	岡本健三	坪倉勝幸	山本芳昭
○	○	○	×	○	○	○	×	○	—

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

討 論

反対 近藤仁志議員
高齢者にとってカード枚数が減り利便性が良くなる。手厚い支援体制は必要だが、任意の取得で検証した上で義務化を進める発想に間違いはない。

賛成 久代安敏議員
任意の制度なのに保険証を廃止して強要しようとしている。後期高齢者などスムーズに取得できるか不安である。政府への信頼が希薄で浸透してない。

問 土地購入断念の考えを
地元に説明を

答 考えを伝える機会をつくる



大西 保 議員

問 中村町政 2 期目の決意は

答 地方創生の推進
—町民が誇りを持てるまちづくり—



櫃田洋一 議員

問 セントラル農場の環境問題
被害を受けている農家及び下流域の農家に対してどのような思いなのか。

答 中村町長
数十年に對する苦勞、苦痛は大変であったと思つてゐる。しつかりと安定した排水処理ができるよう協議し、前に進める。

問 今後の対応は

答 町長
今後について町としてどのような対応を考えているのか。

問 土地の売買を整理し、地元と協議していく。

答 町長
土地の売買を整理し、地元と協議していく。

問 土地購入断念

答 町長
町長選挙期間中に土地を買わないと表明されたが事実か。

問 決断に至った経緯

答 町長
庁舎内で協議をされたのか。

問 地元の説明は

答 町長
今までの経緯を参考自身で決断した。地元は今でも陳情の思いは変わっていない。町長自ら説明された。

問 共創と協働

答 中村町長
「共創と協働で進むまちへ」を掲げた2期目は、関係機関の様々な分野の専門知識と技術を取り込んでいく。多様な意見や指導もいただきながら協働で進み模索しながら挑戦する。

問 デジタル

答 町長
持続可能なまちづくりとしてデジタル活用を掲げているが、携帯電話の不感場所をなくすることが大切。少なくとも町内の事業所はつながるようにするべきでは。

問 再開への決意

答 青戸教育長
夏休み以降検討し始め、コロナ禍が終息していない中で今年度も難しいと思つてゐた。渡航制限が緩和されシアトルの状況を聞くことができたり、子供たちを派遣してやりたい気持ちが強くなった。令和元年度当時中学生で現在高校生の10人のうち8人が希望とし、強い思いを語ってくれたことが後押しになった。

問 販売単価の見直しは

答 町長
80000円/tから当初の100000円/tに戻す考えはない。継続して購入される企業もあり、当面は金額を戻す考えはない。

問 日本初!カーボン・オフセット道の駅

答 町長
令和5年度に申請をし、令和6年度の取得予定である。森林組合より20000トンを購入し、現在2333トンある。

問 ジークレジット

答 町長
地元への考えを伝える機会を作つて行きたい。

問 環境基本計画の進捗状況は

答 町長
昨年3月の施政方針で「グリーンドリム計画」を策定すると発表されたが、現在の進捗状況は。

問 連絡会議の開催実績

答 町長
年内に素案を環境審議会委員に提示し、年度内に完成するよう策定中である。

問 連絡会議の座長

答 丸山副町長
座長は副町長であるが認識しているか。

問 実効性のある計画作成を

答 町長
来年度からの第4次計画は、過去15年間の反省を基に作成すべきではないか。

問 住民の意見を聞き、素案が出来た段階で内容を精査しながら進めに行く。

答 町長
住民の意見を聞き、素案が出来た段階で内容を精査しながら進めに行く。



言葉は人をつなぐ...じゃんけん列車



パイクプレイスマーケットでの実践会話

町政のここが聞きたい

問 人・農地プランの
地域での話し合いは

答 担い手だけでなく
幅広い関係者の参加を求める



坪倉勝幸 議員

問 中心地域整備計画が見えない

答 活用に向け住民アンケート、
ワークショップを開催



近藤仁志 議員

問 中心地域整備

中心地域の整備計画が見えてこない。進捗と今後の方針を。

答 中村町長

大田原地区に関しては整理すべき課題も多くあり、現状整備計画を示すことができていない。令和5年度から中心地域活用に向け住民アンケート、ワークショップを開催し検討していく。

問 コンパクトレゾナンス構想

コンパクトレゾナンス構想は住民にとって利便性の向上に繋がるし、若者からは公園整備を望む声が多い。

答 町長

住民が利活用する上で効果的な場所を重要視している。コンパクトレゾナンス構想は継続していく。子育て世代からの公園整備も念頭に置いている。

問 イエローゾーン解消

太田原地区のイエローゾーン解消に向けた取り組みは早急に行うべきと考えるが。

答 町長

多様性をもった使用目的になるので、先行した形で解消に向けた

問 みどりの食料システム戦略

農業における環境負荷の低減を図る取組みをどう進めるのか。

答 中村町長

県と共同で進めている基本計画を基に、堆肥の活用や担い手の育成、スマート農業を推進する。

問 人・農地プランの法定化

町内及び地域の人と農地の在り方についての話し合いをどう進めるのか。

答 町長

担い手だけではなく自治会など幅広い関係者も含め、農業の面から見た地域づくりについて話し合いを行うっていく。

問 地域計画

農業委員会は、目標地図(素案)の作成にどう取り組むのか。

答 梅林農業委員会会長

守るべき農地について所有者と耕作者の意向を把握し、農業委員と農地最適化推進員が中心となり取り組む。

問 農業基盤整備事業

地域計画に基盤整備の推進を盛

整備はやっていきたい。

問 新病院建築プラン

新病院建築プランの検討を始める。政策提言で述べられているがその内容は。

答 町長

日南病院は昭和37年に開設し、建物昭和48年に新築、その後約50年が経過し老朽化が進んでいる。医療機能、施設設備及び財源を含め、新たな日南病院整備計画を具体化し進める。

問 建築内容

新築を念頭にいた政策提言か。

答 町長

新築を基本に構想を持っている。最終的には財源も考慮しバランスを考えて判断する。



整備計画が動き出す日南病院

問 建築の場所

伯備線に隣接している関係で、最先端医療機器(MRI等)の導入が困難と説明を受けたが。

答 町長

そついった背景や、急峻な山に接していること、高低差のある立地なども念頭に考える。平場のほうがローコストで済むことも加味し総合的な判断となる。

問 観光振興

山里Roadにちなんの今後の活動内容と課題は。

答 町長

今年度もヒメボタルおもてなし、銀杏イベントを実施した。関わっていたいた外部スタッフを今後観光振興の協力者として人材バンク構築を目指していく。レンタサイクルを活用した滞在時間の延長も考えている。

問 共創・協働

共創・協働で進むまちを2期目の柱に据えておられるが狙いは。

答 町長

2期目も行政だけで解決できない案件など民間企業、大学、住民等との共創によりまちづくりを推進していく。

問 地域おこし協力隊

町外から若い力を町内に取り込む地域おこし協力隊の募集と定着をどう進めるのか。

答 町長

インターン制度も活用し、隊員の募集をしていく。

問 協力隊募集

狙った層へ突き刺さるアピールをしなければ応募者がない。

答 島山企画課長

全国で協力隊の取り合いがある。有効な募集方法を検討したい。

問 予算編成方針

来年度の事業計画 予算編成の方針は。

答 町長

総合計画など各種計画との整合を図り、SDGs目標達成に向けた取組み、物価高騰対策など町民の生命・健康と暮らしを守ることを最優先とする。

問 事業計画

骨太の方針が示されていない。

答 町長

予算編成の段階で盛り込む。



白谷で進められた圃場整備

問 所得向上

農業所得の向上の取組みは。

答 町長

低コスト化、省力化を図りながら、販売価格を生産者が決める取組みなど販売力の強化、さらに高付加価値化を目指す。

問 求人と求職のミスマッチ

町立ハローワークの設置やインターン制度を普及してミスマッチの解消に取り組むべき。

答 町長

お仕事バンク(ショートタイムワーク)の取組みを進めている。

問 おでかけタクシーチケット
助成の継続を

答 外出支援のため
前向きに検討する



久代安敏 議員

問 土地購入撤回を地元住民や
議会が認めないときは

答 理解いただけるよう
全力でお願いする



岡本健三 議員

答 町長
新病院建設については、検討
委員会を立ち上げる。

問 新病院建設プラン
プランの中身は。

答 中曽病院事業管理者
様々な手法を使って、地域医
療のあり方を考えていた。地域
会を設けたい。特別講演は地域
医療確保のために参考にす。

問 日南病院シンポジウム
60周年記念のシンポジウムを、
どう反映されるのか。

答 町長
無料PCR検査は令和5年1
月13日まで実施する。

問 コロナ感染対策
日南病院のコロナ院内感染は。
中村町長

答 町長
11月3日より職員と患者合計
24名の院内感染が発生した。一
般病棟に集中したことにより応
援のため、外来診療を中止した。

問 PCR検査
無料のPCR検査は、感染拡
大を防ぐために重要であるので
続けるべきだ。



空になった豚舎（12月12日撮影）

答 町長
知事とは話していない。町の姿

問 県知事と話しては
農場購入について県知事に町長
が直接説明し、支援を求めている。

答 町長
していない。金額が大き過ぎて、
現実的に購入はできない。

問 専門家への相談
12月12日の県の立入調査に町も
同行して現地を確認する。

答 町長
適正な購入金額や交渉の進め方
などを顧問弁護士や専門家と相
談したか。

問 セントラルファーム
町は豚の頭数や設備の変更を実
地で確認したか。

答 町長
この制度は地域振興や集落を
応援する交付金であるので、所
得向上は別に協議していく。

問 所得向上対策
農家の所得向上のために「中
山間地等直接支払交付金」の単
価引き上げを国に要求したい。

答 町長
第一次産業を基幹産業とする
町として、消費、生産の両面か
ら食料自給率向上に取り組む。

問 政府の農政
日本の食料自給率38%とい
う実態をどう受け止めているか。

答 町長
5万円を給付する事業につい
て、年内には順次支払している。

問 物価高騰対策
住民税非課税世帯への支援金
がまだ支払われていないが。

答 町長
12月上旬に農業者へ制度周知
を図り、2月末まで申請を受け
付ける。

問 肥料高騰対策
国と県が進めている肥料高騰
対策は、どうなっているか。

答 町長
PR不足で周知できてなかった。
今後、ホームページなどでも知ら
せる。

問 就学援助
給食費に加え教材費なども補助
する就学援助を拡充しては。

答 町長
若い方達の声を聞きながら継続
して検討する。

問 給食費無償化
教材費に比べ給食費は金額も大
きく、子どもの多い世帯は大きな
負担となる。無償化も検討しては。

答 町長
材料費の高騰が続いており、新
年度も高騰分は補助する。

問 学校給食費
現在、材料費高騰分の補助をし
ているが、補助を拡充しては。

答 町長
ご理解いただけるよう全力で
お願いしていく。

問 撤回を認めないときは
地元住民や議会が購入の撤回を
認めないときは。

答 町長
勢と購入金額が最重要である。

問 補聴器購入への補助
介護認定調査で半数以上が難
聴の結果だが、町全体では何人
くらいが難聴なのか。

答 町長
聴覚障害の手帳を持っている方
が26人いる。



5年経過したタクシーチケット

答 町長
外出支援を行いたいと前向き
に検討している。

問 タクシーチケット
おでかけタクシーチケットの
継続を。

答 町長
政府にきちんとした運用を求
める。

問 健康保険証の廃止
政府は令和6年から健康保険
証を廃止してマイナンバーカ
ードに紐づけることを決定してい
るが、混乱は避けられない。

答 町長
令和4年10月末時点で38.4%。
政府には任意の取得であるこ
とが明記されている。日南町の
発行比率は。

問 マイナンバーカード
平成28年に比べ正職員が2割以
上減っている。中途退職者が多い
のが問題では。

答 町長
内部事情で退職しているのでは
改めるべき。現場との意見交
換の中で努力を促していく。

問 福祉会の正職員数
新型コロナで受け入れを制限し
ている。一定の受け入れ枠は必要
である。

答 町長
他町の状況も見ながら今後の方
向性を出していく。

問 在宅介護とショートステイ
在宅介護のために、ショートステ
イの受け入れ枠を増やしては。

答 町長
国の基準が厳しく、ほとんどの
加齢性難聴は聴覚障害と認めら
れない。町による補助が必要では。

問 加齢性難聴への対応
聴覚障害の手帳を持っている方
が26人いる。

答 町長
聴覚障害の手帳を持っている方
が26人いる。

問 出口福祉保健課長
聴覚障害の手帳を持っている方
が26人いる。

答 町長
聴覚障害の手帳を持っている方
が26人いる。

問 補聴器購入への補助
介護認定調査で半数以上が難
聴の結果だが、町全体では何人
くらいが難聴なのか。

答 町長
聴覚障害の手帳を持っている方
が26人いる。

住宅政策及び中心地域調査特別委員会 12月6日

令和7年に町へ移管が予定されている伯南第一団地と、令和4年3月末に耐用年限を迎えたきりしま団地の状態を把握するため現地調査を行った。

また、所得要件が厳しい町営住宅は国に用途の変更届を提出して、承認を得ることで特定公共賃貸住宅として使用できると説明を受けた。

県営 伯南第一団地（建設課）

供用開始：平成11年4月1日
住 所：日南町三栄1715番地
構 造：木造二階建8戸、木造平屋建2戸
間 取：3DK及び2DK

【県営住宅にかかる県の方針】

- ・市町村管理代行の県営住宅については、市町村へ移管を検討。
- ・移管可能な場合は、県で必要な修繕を行い移管手続きを行う。

町営 きりしま団地（建設課）

供用開始：平成4年4月1日
住 所：日南町生山545番地
構 造：木造二階建
間 取：3DK
耐用年限：令和3年度末(令和4年3月31日)



きりしま団地の屋根の状態を調査

■所感

- ・屋根の修繕、水回りのリフォームをすることで供用延長は可能。
- ・要望の多い特定公共賃貸住宅としても活用を望む。

総務教育常任委員会 12月7日

日野上銀杏イベント実績報告（企画課）

- ・イベント期間：11月5日（土）～20日（日）
- ・来場者数：4,462人（前年度約10,000人）
（内シャトルバス乗車数2,983人）
- ・協力金収入：636,400円

今年度から入場する時にイチョウ環境保護協力金200円（高校生以下無料）をいただいた。使途については、来場者と会場周辺の安全確保のための管理費に充当。

■委員からは、協力金の使途、記念品の作成費、経済効果等、質疑を行った。（次年度に向けた取り組みへの参考にすると回答であった。）



デマンドバスター・ツー・ドア運行(企画課)

10月3日より、朝と夕方は通勤通学を兼ねた大型バスを運行、日中は往路復路各3便のドア・ツー・ドア型のデマンドバスを開始した。

- ・デマンドバス利用登録者：11月末で1,033人（住民の約25%）
- ・利用状況：39日間で延べ1,504人（1日平均38.6人、1便平均1.3人）

利用者からは、重い荷物を持ってバス停まで行かなくてよくなった、また外来受診が終わってから帰られるようになった等の利便性が向上したとの意見をいただいている。

《課題》

- ①乗降場所がもっと自宅近くにならないか
企画課と委託事業者が現地確認を行い、車輛の小型化も検討している。
- ②利用方法の周知徹底
開始前から各まち協、自治会、百歳体操会場へ説明に行ったが、要望があれば出向いて説明します。

経済福祉常任委員会 12月7日

第二団地の木質バイオマス事業（農林課）

事業者（バイオマスエナジー株）より、11月18日に計画を白紙に戻すとの報告があった。

町有林の経営状況（農林課）

町有林管理請負事業実績 (円)

	内 訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入	木材販売額	56,753,985	64,040,641	60,346,656
	造林補助金	28,662,744	26,476,718	18,927,806
	持出支援補助金	7,263,228	9,950,200	7,808,502
支 出	施業費	73,349,180	74,740,600	62,283,100
	分収配当	1,113,227	0	0
収 支	利益	18,217,550	25,726,959	24,799,864

事業実績は下刈作業に若干の赤字も見られるが年度ごとの収支については、補助金もあり黒字となっている。

議会活動報告

鳥取県町村議会議員研修会
11月21日 三朝町総合文化センター

「議員のコンプライアンスについて」

講師 元全国都道府県議長会
事務局次長・議事調査部長
内田一夫 氏

「防災・減災と議会の役割について」

講師 防災システム研究所所長
防災アドバイザー
山村武彦 氏

7日	29日	21日	17日	16日	2日	1日
総務教育常任委員会	鳥取県町村議会議員研修会(三朝町)	鳥取県町村議会議員研修会	商工会青年部との意見交換会	南部町議会行政視察受入(タブレット)	議会報告会・意見交換会(石見地域振興センター)	議会報告会・意見交換会(総合文化センター)
住宅政策及び中心地域調査特別委員会	議会運営委員会	鳥取県町村議会議員研修会	鳥取県町村議会議員研修会	鳥取県町村議会議員研修会	鳥取県町村議会議員研修会	鳥取県町村議会議員研修会
12月10日	12月10日	12月10日	12月10日	12月10日	12月10日	12月10日
議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議
12月24日	12月24日	12月24日	12月24日	12月24日	12月24日	12月24日
議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議
12月26日	12月26日	12月26日	12月26日	12月26日	12月26日	12月26日
議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議
12月28日	12月28日	12月28日	12月28日	12月28日	12月28日	12月28日
議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議	議会定例会本会議

日南中学校2年生が議会傍聴



日南中学校2年生16人は、12月8日 町議会12月定例会の一般質問を議場で傍聴しました

中学校では、3年生の社会科(公民)で「地方自治」について学習します。今回は、その事前学習として2年生が日南町議会の傍聴を行い、来年度の学習へつなげていくこととしました。教科書で学習することも必要ですが、実際に見たり聞いたりすることで、より理解が深まります。今回の傍聴は、良い経験になったと思います。

日南中学校担当者

町の未来を決める大切なお話をされている場を見ることができてよかった。

議会の様子を前にテレビで見たことがあったけど、生で聞いて難しい予算の話など話して、町内の事を考えて話し合いをされているのだと思いました。

難しい話だったけど、みんな風になんか取り合っている感じが分かってよかった。

議場での論戦を傍聴した中学生から感想を寄せていただきました。



エサ代高騰の中ががんばる酪農家

にちなん議会だより 令和5年1月発行 No.170

物価高騰対策事業
417.2万円
物価高に対応するため、全町民に「たったもカード」スペシャルポイントを1万ポイント付与

防災対策事業
50万円
コロナ対応の消毒用アルコール、抗原検査キット等を追加購入

障害者サポート事業
54万円
排泄支援用具(ストマ用装具)の高騰に対する助成金

学校給食費町負担金事業
106万円
食材費が高騰しているため一食あたり町負担金を50円増額

日南町版畜産経営緊急救済事業
109万円
飼料価格等の高騰に対する助成

第6回臨時会

令和4年11月2日

補正予算

全員協議会

所管各課から、報告事項や事業の進捗状況などについて説明を受け、質疑を行いました。

11月11日 養豚場の排水問題

飼育頭数の推移、水質検査の報告および排水処理施設の改修に係る説明を受け質疑。

12月1日に県の担当者から排水処理施設の改修について聞き取りを行った。

養豚場の買収

町による農場の買い取りについて、10月27日に行われた農場の譲渡先事業者との交渉経過の説明を受け質疑。

相手先から譲渡金額が2桁億円になると提示された。引き続き交渉に当たる。

11月18日

◆総合型地域スポーツクラブ

生涯にわたってスポーツを楽しむことができる場の定着のために、来年度クラブを立ち上げる。

◆海外派遣事業

2年間実施できなかった

12月13日 選挙公報

町長、町議会議員選挙における選挙公報の配布方法について、郵便局の制度変更により、従来のように選挙期間中に各世帯への配達が出来なくなった。

先の町長選挙では新聞折込をしたが、全世帯へ届かないことが問題になった。

自治会への協力要請や町による雇用などにより、選挙期間中の全戸配布を検討する。

◆畜産センターの用地取得

日南町畜産センターは昭和59年建設以降、代表井上輝之氏外36名所有の二部山の山林約52haを40年間賃借している。(畜舎はみらいグローバルファームに貸与中) この度畜産センター部分を含む34haを所有者より売却したいと要望があり、町が取得することと合意した。



取得予定の二部山33番地

12月20日

◆養豚場の買収

町長から買取り交渉を打ち切り、農場の譲渡を受けた事業者と環境保全に係る協約書などについて話し合いに入ると報告があった。

町長が実質的な買取り交渉を1回もすることなく、また議会や陳情者と協議をせずに買取り交渉の打ち切りを独断したことに対して議員から批判が多く出された。

◆養豚場の排水問題

12月12日に鳥取県と町が合同で実施した立ち入り検査の結果について、次のとおり報告を受けた。

○排水処理施設については、適正な汚水処理が出来るよう必要な施設設備の改修が行われている。

○畜舎も順次、老朽化した設備を更新している。

○現状では水質汚濁を引き起こす要素は見られない。

○事業継承されて飼育頭数が増えたときに改めて立ち入り検査を行う。

身近な話題を町政に

議会報告会並びに意見交換会を開催

令和4年度に開催しました議会報告会並びに意見交換会でいただいたご質問やご意見について、各常任委員会や特別委員会で検討し、その結果をまとめました。



【意見交換会を行ったグループ】

- ・阿毘縁むらづくり協議会 7月22日
- ・食育推進協議会 7月27日
- ・商工会青年部 11月17日

【議会報告会及び意見交換会を行った会場】

- ・総合文化センター 11月1日
- ・石見地域振興センター 11月2日

【議会】

審査意見の対応状況

問 予算・決算審査意見に対し執行部の対応状況はどうなのか。
答 議会は結果が出るまで調査すべき。
問 予算・決算審査特別委員会が前年度の審査意見対応について報告を求めている。
答 町議による役場職員に対するパワハラがある。課長全体の会議等で取り上げ職員への対策をお願いしたい。
答 執行部に問い合わせたところパワハラはなかった。

議員と職員の関係

問 町議による役場職員に対するパワハラがある。課長全体の会議等で取り上げ職員への対策をお願いしたい。
答 執行部に問い合わせたところパワハラはなかった。

議会の役割

問 議会から町の将来について執行部へ提案してほしい。
答 議会と町行政は住民の為に互いに両輪として活躍してほしい。
答 町の発展のため引き続き努力する。

【総務課】

役場窓口

問 役場に相談に行ったとき担当者がいないので分かりませんと他人事のように対応された。
答 町民の問い合わせ等に対して、丁寧な対応を行うよう改善を求めた。

イベントの日程調整

問 総合防災訓練の日に町人会を計画されていた。連絡調整ができていない。
答 町全体のスケジュール管理が徹底するよう改善を求めた。

【企画課】

自治会活動

問 従来からある住宅地に移り住むと新たな自治会・班付き合いが始まり煩わしい。
答 地域の安心・安全を確保するためにも加入が望ましい。

公園

問 子どもが一日中楽しめたり、サバイバルゲームが出来る公園が欲しい。
答 公園の必要性は分かってはいるが、施設の内容については検討する。



子どもが楽しめる公園（伯耆町）

地域振興の施設整備

問 地域振興センターの整備についての方針はあるのか。
答 明確な方針はない。維持については、公共施設等総合管理計画で定められている。

地域担当職員

問 決算審査意見で地域担当職員の役割が曖昧で機能していると言われているが、どういうことか。また、残業代は出すべきである。
答 平成28年に地域担当職員制度実施要綱が定められており、委嘱状を交付している。勤務時間外に参加した場合は令和4年4月から代休を与えている。

交通手段

問 日曜日も電話したら来てくれる交通手段が欲しい。
答 引き続き状況を見ながら住民の声を反映するように検討していく。

バス停

問 バス停のことを聞いたら、町はバス停は設置しないとのことだった。企画課に要望書を出したのが対応してもらえなかった。
答 待合所の設置については、地域で行っていたことが前提であるが、修繕及び改築に対して補



道の駅町内特産品コーナー

特産品開発

問 名物と言われる食べ物があれば良い。
答 道の駅を中心に特産品開発に努める。

デマンドバス

問 ドア・ツー・ドアといっても、家まで入れない場合もある。
答 家まで行けない課題のあるルートの現地調査を行っているところである。小型車の使用も視野に検討する。

助金が出せないか検討しに行く。

タクシー運行

問 タクシーは早朝、夜間及び日曜日は運行していない。バスが運行していない時間帯にタクシー運行をお願いしたい。
答 現段階では難しいが、事業者に引き続き要望していく。

タクシーチケット

問 おでかけタクシーチケットは令和5年度はどうなるか。
答 継続予定だが、内容については検討する。

定期券

問 小中学生全員に定期券が発行されている。全員持っているなら提示の必要もないのではないのか。
答 町外の子供と区別するために必要である。

活性化策

問 若者の意見が反映されにくい。
答 世代間にとらわれずコミュニケーションをとる必要がある。

地域おこし協力隊

問 お試し地域おこし協力隊制度、地域おこし協力隊インターンシップの制度の活用を常設してほしい。
答 採用情報がネットに載っていない。
答 来年度にインターンシップを活かした地域おこし協力隊制度を設ける予定である。募集する際には、インターネットサイトのJoinに掲載していく。

企業誘致

問 企業誘致を進めてほしいが、議会はどうか考えているか。
答 企業誘致は進めるべきと考えるが、十分な調査も必要である。



分水嶺のまち

商工会青年部活動

問 プレゼンなどしなくても自由に使える予算の枠を作りたい。
答 目的や成果が明確な事業に対して補助している。

空き家バンク

問 空き家バンクに登録されていない空き家について登録促進してほしい。
答 担当課に登録促進を要望していく。

観光振興

問 いくつもある分水嶺や県境が町おこしの材料にならないか。
答 3県に接する地域性や町特有の資源を活かせる案内看板等の確認を行い、観光振興を進める。

【住民課】

セントラルファーム

問 セントラルファーム汚水問題について、町及び議会はどう解決するのか。

答 議会は養豚場の操業中止の陳情を採択した。引き続き注視していく。

ごみ問題

問 高齢者をはじめ、誰にでもゴミの分別が分かるように広報活動が必要と思う。

答 引き続き町報等で広報をする。

ごみ処理広域化

問 西部広域のごみ処理広域化の構想は見直した方がよいのでは。ごみを燃やすのは時代遅れではないか。

答 各市町村の焼却施設は老朽化している。西部広域で建設する方針が決定し、令和14年度稼働に向けて具体的に動き出している。

自然保護

問 日南町は希少植物の

答 進出事業者が撤退したため中止となった。

林業アカデミー

問 林業アカデミーで、町民にも開かれた講座を作ってほしい。

答 町の取り組みでいる木育や林業体験に参加していただきたい。



町外向け木育講座

林業アカデミーの寮

問 林業アカデミーの住宅整備の件について、議会での意見を伺いたい。

答 町営の空き住宅も多く、専用の新築住宅の必要性を感じない。

宝庫である。希少植物保護について、いくら町に言っても動いてくれない。

答 希少植物保護は、町全体での取り組みを促していく。



希少植物（サギソウ）

小水力発電

問 新石見小水力発電所の水路を度々修繕している。これまでかけた経費はいくら掛かったのか。収益は出ているのか。

答 平成27年から7年間の累計は、約7百万円の赤字である。但し、令和2年度の収支は約9百万円の黒字であった。再生可能エネルギー推進のため、現段階では必要と考



新石見小水力発電所

【農林課】

農地

問 農地耕作放棄地は、町が管理して耕作出来るようにしてほしい。

答 農地中間管理機構で対応が可能。

相続放棄

問 山、田などの相続放棄が起きてくる。安易に町が土地の寄付を引き受けるべきでない。

答 土地の寄付の受け入れは、寄附採納審査委員会で審査している。

日南米のブランド化

問 日南町は、米のPR

が弱い。仁多米のように日南米というブランドを作ってほしい。

答 それぞれの事業者が自社ブランド名を付けて販売しており、日南米ブランドの一本化は現状では難しい。



生産団体ごとの日南米ブランド

肥料等の値上がり

問 農業で何もかも値上がりしている。肥料の値上がりで経営がきびしい。

答 国、県、町も資材高騰対策の助成事業を行っている。

農家支援策

問 がんばる農家プランは、機械購入に際して規模拡大が条件になっている。

答 令和5年度も継続する。

【教育課】

学校教育

問 町独自の特色ある教育をすべきではないか。

答 小人数学級を活かした教育を進める。

学校とボランティア

問 バス停で子供の見守りのボランティアに参加しているが、当初学校側から1人つける条件だったのに参加してもらえていない。学校側の責任者の参加がないと何かあった時に処理できない。ボランティアと学校の信頼関係は欠如していないか。

答 教員1名の配置の約束はないが、今後CSサポーターの連絡協議会で協議する。

【病院】

サイバー攻撃

問 病院を狙ったPCウイルス（ランサムウェア）に日南病院も対策を。バックアップを3つ

従業員給料アップや待遇改善等の部分でも認めてもらえることも考えてほしい。

答 補助の条件について県に要望していく。

将来への不安

問 稲作農家の後継者を育てる方策を町も独自で探る必要があるのでは。

答 解決に向け、町も農業研修生制度や親元就業制度に取り組んでいる。

水田活用交付金

問 水田活用交付金は、5年間水張りをしていない水田は除外されるのか。

答 国の方でも議論になっている。まだ最終決定となっていない。

林業経営

問 町有林皆伐の収支決算はどうなのか。

答 皆伐再造林の収支は補助金もあり、黒字である。

バイオマス発電

問 バイオマス発電企業誘致の進捗状況報告が全くない。

答 日南病院では、セキユリティ対策を確実に実施している。

その他にも多くの提案をいただきましたので、今後の議会活動に活かしてまいります。

お詫びと訂正

令和4年10月発行の「議会だより」に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

訂正箇所

P4「簡易水道事業の資本的収支」

・決算歳入総額
誤) 7597万0千円
正) 759万7千円

P3「たつたもカド地域・内経済循環対策事業」
誤) 2250万円
正) 225万円

道 どんこい、この町に生きる 草

にちなん議会だより

令和5年1月発行 第170号

ホームページ
<http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/2/>発行／日南町議会 編集／議会広報常任委員会 印刷／富士印刷(有)
〒689-5292 鳥取県日野郡日南町霞800
電話：(0859) 82-1900 FAX：(0859) 82-1131

手間をかけ育てる喜び 胸躍る

山本 青空さん（下阿毘縁）

子どもの頃から祖父を手伝う

小学校低学年から祖父の米作りを手伝っていました。田植えや稲刈りなどで色々な作業を覚え、中学生の頃にはトラクターで田起こしなどもしていました。

高校を卒業して孫ターン

農業の勉強をするため日野高校を選択し、卒業してすぐ日南町へ孫ターンしました。両親の元を離れて、祖父母と愛犬のチャコと一緒に暮らしています。就職活動では働エイトの社長の息子さんに「うちは福利厚生がしっかりしているから」と口説かれ、祖父母の家から近くて通勤にも便利なので選びました。

農業も機械の整備も除雪も

夏場の農業では稲作とトマトをしています。稲作では入社してから水田の水見も勉強しています。難しいです。トマト栽培は責任者の安達悠さん（議会だより第166号参照）に作業のポイントを教わりながら育てています。

農業機械の整備も覚え、コンバインを分解し、掃除、部品交換などもしています。

大型特殊や車両系建設機械の免許も取りましたし、冬場は地域のために除雪に取組みます。

若者に農業を伝えるには

農業の楽しさを伝えることが大切ではないでしょうか。それには日南町に来てもらって手作業も機械も実際に農業を体験してもらうことです。それとこれからの時代ICTが重要です。GPS田植え機などを使えば、オペレーターの負担を減らせます。

農業の魅力

農業の魅力はやはり手間をかけて育てていくことです。肥培管理、誘引、摘果など、手を抜いては良い作物はできません。

将来は

将来は家族をもつて日南町で暮らし、阿毘縁地域一帯を働エイトとともに守るような農家になりたいです。



初めての除雪にのぞむ

編集後記

新年おめでとうございます。

クリスマス寒波による大雪となり、連日の雪かきにより正月の準備もままならず、いつもより慌ただしい年末を過ごされたのではないのでしょうか。

コロナによる行動制限が撤廃されたことで特急の発着に合わせ、帰省客で生山駅も賑わっていました。

政府は「全国どこでも誰もが快適に暮らせる社会」を目標に掲げた。選ばれた地域として魅力と活力ある町への取り組みが重要視され、後継者、移住定住、人口減少等、諸問題解決の糸口になるのでは。

近藤仁志 記

発行責任者

議長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長 近藤 仁志

副委員長 檀田 洋一

委員 久代 安敏

委員 荒木 博

委員 岡本 健三

委員 坪倉 勝幸